

いきいきネットワーク応援者の声



活動内容	応援者の声
高齢者（お風呂掃除など）	身体の動きがうまくいかないとおっしゃる中、いつもいい笑顔で迎えてくださいます。
共働き（掃除、炊事など）	小学校に入学したお子さんが、新しい水着を見せてくれました。楽しく学校に通えているようで何よりです。
子育て（掃除）	（夏、留守を預かっているお母さんが）掃除中に全室のクーラーを入れてくださり感謝の思いです。
共働き（朝、保育園送り）	お子さんもだいぶん慣れて、泣いてぐずる事がなくなり「おはよう」と挨拶してくれるようになりました。
高齢者（調理）	訪問するととても喜んでくださいます。今後も生活の変化を注意深く見守っていきたいと思います。

<2022 年学習会の感想>

学習会テーマ	応援者の声
リスクマネジメント（5月開催） <講師> パルシステム職員 樋口修一	・ 応援活動の事例などを聞いてよかったです。 ・ いきいきネットワークの活動時だけでなく、普段の生活でも危険を回避できるよう注意したいと思います。 ・ 「だれでもミスを起こすものです」という言葉が印象的でした。 ・ 困った時迷った時は、まずは事務局に相談して自分で判断しすぎない事、抱え込みすぎない事が大切だと思いました。
DVD 上映会（8月） アニメーション「どんぐりの家」	・ 障がいを持っていてもいなくても、誰もが活躍できる場所、居場所が必要だと感じた。人は助け合い、支え合うことが大切だと改めて思った。 ・ 子供は宝ですね。やさしくあたたかく見守る気持ちはあるので…もっと勉強して接します。
高齢者疑似体験（9月） 社会福祉協議会の福祉用具貸出を利用	・ 高齢になると動作がゆっくりになると理解できました、今後は動きや声かけをていねいに行いたいと思います。 ・ 高齢者だけでなく体が不自由な方の感覚も体験できたように思う。今、自分が自由に動けることをありがたく思い、周囲の人たちを労わって過ごしたい。
「病気になったとき 賢い患者でいるために」（11月） <講師> NPO法人ささえあい医療人権センター COML（コムル）理事長 山口 育子	・ 病気になったとき、医療機関任せでなく患者として主体的に行動することが自分を守ることだと確認しました。 ・ セカンドオピニオン外来、差額室料・交渉法やジェネリックの活用法がとても参考になりました。 ・ 日常でのコミュニケーションの大切さを教えていただいて目からうろこが落ちました。医師や調剤の方とのコミュニケーションに役立てようと思います。
応援者交流会&顔ヨガ講座（3月） <講師> カルチャーヘルパー 辻のりこ	・ 顔ヨガ講座で口や目を動かし、普段使っていない事を実感しました。 ・ 交流会で現在活動している方やしていない方など、みなさんの話が聞けたことがよかったです。